

◆ 習慣と信頼 ◆

「人間の最大の武器はなんだか知ってるか」

主人公の親友が問いかける。聞き返した主人公に親友が答えたフレーズが「習慣と信頼だ」。
伊坂幸太郎さんの小説『ゴールデンスランバー』の一節である。

今朝、近隣の藤代駅で「さわやかマナーアップキャンペーン」を藤代紫水高校、聖徳大学附属取手聖徳女子高校、本校で実施した。



3年前になる。藤代紫水高校勤務時にも同じメンバーで行ったこのキャンペーン。再びこの場所でご一緒できることは大変ありがたい。加えて、紫水と本校の生徒指導主事は替わっておらず、付け加えればお二人ともハンドボール部顧問である。

紫水高校勤務時、雨の日であったが、校門に立ち生徒の皆さんの安全確保に努めていたT先生の姿がよみがえる。一方、今年度臨時休業から徐々に分散登校になった時期に、やはり校門で久しぶりの登校となった生徒の皆さんへの細やかな声かけをしてくれたK先生。



こんな先生方と一緒に仕事ができることをとてもうれしく思う。

最近では、生徒の皆さんに話す内容もまずこうだ。

「人との出会いを大切に 感謝の気持ちを忘れずに 苦しいときこそ頑張る」

T先生に教えてもらった。

この「習慣」が「信頼」を獲得できているかどうかはわからないが、少なくともそうありたいと思う。

「おはようございます」…さわやかなあいさつが朝の駅舎にこだました。